令和　４年　２月　２４日

学生・教職員　各位

施設環境安全課

ツヤハダゴマダラカミキリの発生状況に関する情報提供について（通知）

標記の件について、文部科学省及び環境省から別添の通り、外来種である「ツヤハダゴマダラカミキリ」の発生状況に関する通知がありましたのでお知らせします。

海外では幅広い樹種の樹木に甚大な被害を及ぼしており、日本においても、森林のほか、農地、公園、街路樹、学校等の樹木への影響が生じているため、注意喚起します。令和２年６月に兵庫県で発生が確認された後、国内での発見が相次いで報告され、現在、全国８県（宮城県、福島市、茨城県、埼玉県、富山県、愛知県、兵庫県、山口県）で確認されています。

本虫は、根元付近の樹幹ではなく枝先に穿孔することが多いため発見されにくく、枯れ枝の落下による人的被害等も懸念されます。

つきましては、ツヤハダゴマダラカミキリと思われる個体が発見された場合には、下記担当にご連絡下さい。本虫の侵入防止及び定着防止のため、ご協力をお願い致します。

以上

【本件担当】
施設環境安全課　環境安全係
内線　　7961・7962
E-mail　kanan@jim.kit.ac.jp

事　務　連　絡
令和４年２月 16 日

各都道府県・指定都市教育委員会施設主管課
各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課
各都道府県私立学校主管課
構造改革特別区域法第 12 条第１項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課
各国公立大学法人担当課
独立行政法人国立高等専門学校機構担当課
大学又は高等専門学校を設置する各地方公共団体担当課
文部科学大臣所轄学校法人担当課
大学を設置する各学校設置会社担当課
大学又は高等専門学校を設置する公立大学法人を設立する各地方公共団体担当課
各都道府県・指定都市文化財行政主管課
各都道府県宗教法人事務主管課
厚生労働省医政局医療経営支援課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課
御中

文部科学省大臣官房政策課
文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課
文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課
文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
文部科学省高等教育局高等教育企画課
文化庁政策課

ツヤハダゴマダラカミキリの発生状況に関する情報提供について（依頼）

標記については、環境省より別紙のとおり、外来種である「ツヤハダゴマダラカミキリ」の発生状況に関する情報提供がありました。

本虫は、海外では幅広い樹種の樹木に甚大な被害を及ぼしており、日本においても、森林のほか、農地、公園、街路樹、学校等の樹木への影響が生じ、枯れ枝の落下による人的被害等が懸念されているため、注意喚起の連絡がありました。

なお、本件については、林野庁から各都道府県の森林病害虫等防除事業担当部局に対し、本虫に関する情報提供と、森林以外でも発生が確認された場合でも、関係部局が地域の実情に応じ連携して対応いただくよう依頼がされていることを申し添えます。

つきましては、各都道府県教育委員会施設主管課及び学校安全主管課においては域内の市町村教育委員会施設主管課及び学校安全主管課（指定都市教育委員会施設主管課及び学校安全主管課を除く。）及び所管の学校（専修学校及び各種学校を含む。以下同じ。）に対し、各指定都市教育委員会施設主管課及び学校安全主管課においては所管の学校に対し、各都道府県私立学校主管課においては所管の私立学校に対し、構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課においては所轄の学校に対し、各国公立大学法人担当課におかれてはその設置する大学等に対し、独立行政法人国立高等専門学校機構担当課におかれてはその設置する高等専門学校に対し、大学又は高等専門学校を設置する各地方公共団体担当課におかれてはその設置する大学等に対し、文部科学大臣所轄学校法人担当課におかれてはその設置する大学等に対し、大学を設置する各学校設置会社担当課におかれてはその設置する大学に対し、各都道府県・指定都市文化財行政主管課におかれては市区孫町村の文化財主管課その他の関係機関に対し、各都道府県宗教法人事務主管課におかれては所管の宗教法人に対し、厚生労働省医政局医療経営支援課及び厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課におかれては所管の専修学校に対し、この内容について周知いただくようお願いいたします。

【本件お問い合わせ先】
（学校等における対応について）
文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
安全教育推進室　学校安全係　電話番号：03-6734-2966（直通）
（宗教法人施設、文化財等における対応について）
文化庁政策課企画係　電話番号：03-6734-2809（直通）

別紙

事　務　連　絡
令和４年２月10日

文部科学省大臣官房　政策課
文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課
文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課　御中
文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
文部科学省高等教育局高等教育企画課
文化庁政策課

環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室

ツヤハダゴマダラカミキリの発生状況に関する情報提供について（周知）

平素より外来生物対策に御協力を頂き御礼申し上げます。

さて、昨年５月に開催された「令和３年度クビアカツヤカミキリに関する関係省庁連絡会議」において、農林水産省よりツヤハダゴマダラカミキリに関する情報提供があり、令和２年６月に兵庫県で発生が確認されたとのことでした。その後、国内での発見が相次いで報告され、現在、全国８県（宮城県、福島市、茨城県、埼玉県、富山県、愛知県、兵庫県、山口県）で確認されています。

本種は、特定外来生物には指定されておりませんが、海外では幅広い樹脂の樹木に甚大な被害を及ぼしており、日本においても森林の他、農地や公園、街路樹等の樹木への影響が懸念されています。

今般、令和４年２月８日付けで林野庁研究指導課森林保護対策室室長より、別添のとおり当室から関係省庁に対して、本種に関する情報提供、都道府県等への注意喚起及び被害木処理への協力にかかる周知依頼があったことから、ご連絡させていただきます。

－担当－
環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室　関
tel：03-5521-8344（直通）
fax：03-3581-7090

事　務　連　絡
令和４年２月８日

環境省 自然環境局 野生生物課
外来生物対策室長 殿

林野庁研究指導課
森林保護対策室室長

ツヤハダゴマダラカミキリの発生状況に関する情報提供について

日頃より森林病害虫対策の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ツヤハダゴマダラカミキリは、中国・朝鮮半島原産の外来種ですが、令和３年５月11日に開催された「令和３年度クビアカツヤカミキリに関する関係省庁連絡会議」において農林水産省消費・安全局植物防疫課より、令和２年６月に兵庫県で発生が確認された旨情報提供があったところです。

その後も、本虫の国内での発生情報が各種報道や昆虫専門誌等で相次いだことから、林野庁が各都道府県の森林病害虫等防除事業担当部局等に照会したところ、現時点で全国８県（宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、富山県、愛知県、兵庫県、山口県）での発見情報を把握したところです。（別添１参照）

ツヤハダゴマダラカミキリは、特定外来生物には指定されていませんが、海外では幅広い樹種の樹木に甚大な被害を及ぼすことから、国際自然保護連合により「世界の侵略的外来種ワースト１００」に選ばれており、我が国でも、今後生息域の拡大により、森林のほか、農地、公園、街路樹、学校等の樹木に深刻な影響が生じることが懸念されます。（本虫は、根元付近の樹幹ではなく枝先に穿孔することが多いため発見されにくく、枯れ枝の落下による人的被害等も懸念されるところです。）

このため、被害が拡大する前に早期の対策が必要と考えており、当面の対応として、現在確認されている被害木が新たな本虫の発生源となることを防ぐため、別添２の参考資料をご参考に今年の羽化脱出前（４月末頃まで）に確実に駆除処理を行っていただきたいと考えております。

被害木の駆除処理に当たりましては、被害木の所有者や施設管理者とそれを所管する市町村の担当部局が駆除処理について知識・技術を有する関係部局と協力するなど、地域の実情に応じ連携して適切に御対応いただく必要があると考えております。

また、本虫未確認の土地や直轄施設等においても、関連部局や地方自治体等と連携して本虫発見時の連絡体制や防除体制を整備するとともに、都道府県の関係部局等に対しての注意喚起等の依頼にご協力いただきたいと考えております。

更に、本虫を新たに発見、駆除等を行った場合には、発見場所や被害樹種、駆除方法などについて、最寄りの地方公共団体の森林病害虫等防除事業担当部局等を通じた情報提供にご協力いただきたいと考えます。

つきましては、関係省庁あて本虫に関する注意喚起と、被害木処理への協力をお伝えいただくようお願いいたします。

なお、林野庁から各都道府県の森林病害虫等防除事業担当部局に対し、本虫に関する情報提供と、森林以外で発生が確認された場合でも、関係部局が地域の実情に応じ連携して対応いただくよう依頼しておりますので申し添えます。

林野庁 森林整備部 研究指導課
森林保護対策室 保護指導班
担当：笠井、劒持
TEL：03-3502-1063
FAX：03-3502-2104
E-mail：shuichi_kasai470@maff.go.jp
naoki_kemmochi220@maff.go.jp

ツヤハダゴマダラカミキリの発生情報（令和２年以降）

令和4年1月26日現在

都道府県	市町村	発生場所	寄主植物	本数	生体捕獲等
宮城県	仙台市	街路樹、公園 大学構内	カツラ、トチノキ、ソメイヨシノ、 マメヤナギ	50本以上	目撃、写真
	名取市	街路樹	トチノキ、カツラ	100本以上	目撃
福島県	福島市	街路樹、公園 大学構内、個人宅、 森林、果樹園	トチノキ、カツラ、 オオモクゲンジ？、リンゴ？	不明	捕獲あり、 脱出孔確認
	国見町	役場敷地内	カツラ	28本	不明
	桑折町	個人宅	不明	不明	不明
	白河市	街路樹、公園	トチノキ、カツラ	十数本	不明
	須賀川市	公園	トチノキ（疑い）	不明	不明
	二本松市	個人宅	不明	不明	写真
	伊達市	個人宅、薬樹園、 樹木園	トチノキ、カツラ、エンジュ、 カエデ	トチノキ1本 カツラ4本 エンジュ1本 カエデ不明	目撃、写真、 捕獲、死骸捕獲
茨城県	つくば市	街路樹	カツラ	不明	捕獲
埼玉県	白岡市	街路樹、公園	トチノキ	多数	捕獲
	松伏町	県営公園	不明	44本	目撃
	飯能市	不明（口頭報告で追跡不可）		不明	目撃
富山県	富山市	街路樹、植物園、 公園	トチノキ、アキニレ ※10年前の標本から本虫確認	6本以上	捕獲（15頭以上）
愛知県	名古屋市	公園	アキニレ	不明	不明
	岡崎市	公園、神社	アズキナシ、アキニレ	各1本	写真
	豊田市	街路樹、公園	アキニレ	数本	目撃
	みよし市	街路樹	アキニレ	20本	捕獲（150頭以上）
兵庫県	神戸市	六甲アイランド周辺	アキニレ、プラタナス、 トチノキ	ｱｷﾆﾚ189本 ﾌﾟﾗﾀﾅｽ4本 ﾄﾁﾉｷ6本	捕獲（20頭以上）
山口県	防府市	河川敷	不明（生体のみ確認）	不明	捕獲（1頭）
	岩国市	公園、神社、河川敷、 駐車場、小学校	ヤナギ属、シダレヤナギ、 ポプラ	十数本	捕獲（200頭以上）

参考資料

別添２

ツヤハダゴマダラカミキリ
Anoplophora glabripennis

分布
中国、韓国、北朝鮮原産で、
アメリカ合衆国、フィンランド、
フランス、イタリア等に侵入している。

雄成虫　　雌成虫
図1　本種成虫

寄主植物　（別紙１の①参照）

形態
（成虫）体長　雄　20～29mm
　　雌　22～35mm
体色は全体に光沢のある黒色で鞘翅に約20個の白斑～黄斑を有する。
触角は12節、3～12節には明瞭な白色の帯があり、雄では体長の2.5倍、雌では1.3倍と長い（図１）。
※在来種のゴマダラカミキリとの識別は別紙１の②参照

生態
・　成虫は5月下旬～10月に出現。雌は寄主植物にすり鉢状のかみ傷をつけ、その窪みに 一個ずつ産卵する。かみ傷は一般的に直径 5cm 以上の幹や枝に見られる。
・　卵は2～3週間で孵化し、幼虫は、孵化後しばらく黒褐色の細かい糸クズ状の糞を産卵痕から排出し、2～3齢まで樹皮下を食害した後材内に潜入する。この頃から排出される糞は白く粗い木屑状に変わる。幼虫は最大で50mm以上となり、5令を経て材内で蛹化し、2～3週間後10～15mmの孔を開け脱出する。
・　1年に1世代で、卵、幼虫、蛹態で越冬する。
・　雌は複数の雄と交尾し、一生産卵を続ける（１雌あたり産卵数は約45～62個）。
・　雄の寿命は3～50日。雌は14～66日。
・　飛翔能力は、1回の飛翔は30～255mと短いが、中国では1シーズンに雄成虫が1029m、成熟雌成虫が1442m移動したという報告もある。

海外での被害情報
・　ニューヨーク州、マサチューセッツ州、ニュージャージー州、イリノイ州、オハイオ州、サウスカロライナ州、オンタリオ（カナダ）及びヨーロッパの一部で大発生し、公園や街路樹のポプラを枯死させ、年間数百万ドルの大被害を与えている。
・　中国では全土のポプラ植林面積670万haのうち270万ha（40%）が被害を受けた。

防除方法
伐倒駆除又は、樹木類・カミキリムシ類に登録のある農薬による薬剤処理。
（別紙２参照）

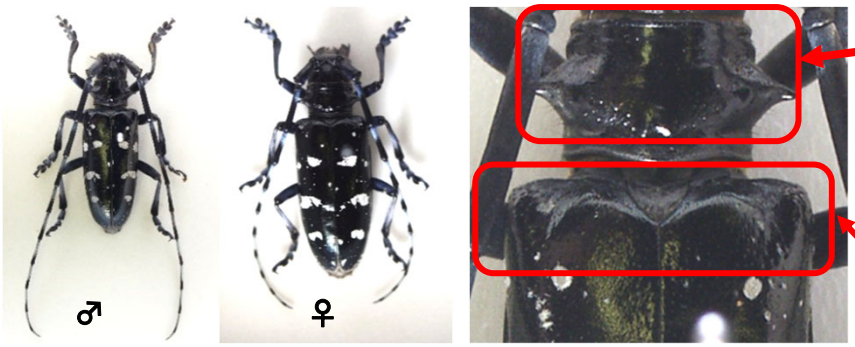
寄主植物と在来種との識別

① 寄主植物

アオイ科：ムクゲ（Hibiscus syriacus）
カエデ科：カエデ属（Acer）、A. ginnala、トネリコバノカエデ（A. negundo）、A. nigrum、
イロハモミジ（A.palmatum）、ヨーロッパカエデ（A. platanoides）、
セイヨウカジカエデ（A. pseudoplatanus）、ベニカエデ（A. rubrum）、
ギンヨウカエデ（A. saccharinum）、サトウカエデ（A. saccharum）、A. tegmentosum、
A.truncatum
カバノキ科：ハンノキ属（Alnus）、カバノキ属 (Betula)、B. populifolia
クワ科：クワ属（Morus)、トウグワ（M. alba）
グミ科：ヤナギバグミ（Elaeagnus angustifolia）
スズカケノキ科：スズカケノキ属（Platanus）、モミジバスズカケノキ（P. ×acerifolia）
センダン科：センダン（Melia azedarach）
トチノキ科：Aesculus glabra、セイヨウトチノキ（A. hippocastanum）
ニレ科：ニレ属（Ulmus）、アキニレ（U. parvifolia）、ノニレ（U. pumila）
バラ科：リンゴ属（ Malus ）、M. sylvestris、サクラ属（Prunus ）、ナシ属（Pyrus ）、
バラ属（Rosa)、Sorbus americana、ヨーロッパナナカマド（S. aucuparia）
マメ科：ネムノキ（Albizia julibrissin）、ハリエンジュ（Robinia pseudoacacia）、
クララ属（Sophora)
モクセイ科：トネリコ属(Fraxinus)、セイヨウトネリコ（F. excelsior）、
ビロウドトネリコ（F. pennsylvanica）
モクレン科：ユリノキ（Liriodendron tulipifera)
ヤナギ科：ハコヤナギ属（Populus)、ウラジロハコヤナギ（P. alba）、P. canadensis、
P. dakuanensis、ナミキドロ(P. deltoids)、クロポプラ（P. nigra）、ヤナギ属（Salix)、
シダレヤナギ（S. babylonica）、ウンリュウヤナギ（S. matsudana）
カツラ科：カツラ属（Cercidiphyllum）

② ゴマダラカミキリとの識別

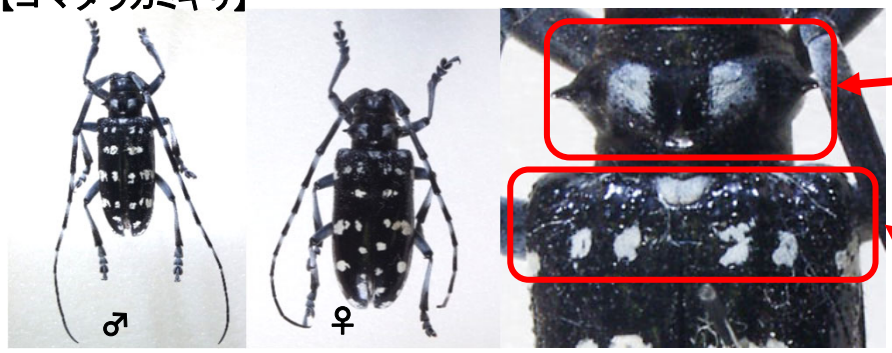
【ツヤハダゴマダラカミキリ】



『前胸背』
・ 白紋を持たない

『上翅基部』
・ 顆粒状突起を持たない
・ 白紋を持たない
・ 小楯板は白色軟毛に覆われない

【ゴマダラカミキリ】



『前胸背』
・ 中央に2つの白紋を持つ

『上翅基部』
・ 顆粒状突起を持つ
・ 白紋を持つ
・ 小楯板は白色軟毛に覆われる

別紙２

ツヤハダゴマダラカミキリの発生調査と防除方法

発生調査方法

〇発生木の調査（時期：周年）

・対象樹：ニレ属（アキニレ、ハルニレ）、カツラ、トチノキ属、ヤナギ類（海外ではポプラやカエデ類への被害が報告）

・木幹を観察し、成虫の脱出孔（写真１：直径 10～15㎜）又は産卵痕（写真２：直径 10～20㎜）、幼虫が排出するフラス（写真 3～4：幼虫が食べた木くずと糞が混ざったもの）の有無を確認（ゴマダラカミキリ等、在来のカミキリムシの可能性があることから生体を確認することが望ましい）

〇成虫の調査（時期：5～10 月ごろ）

・被害発生木を中心に目視で観察

写真１　成虫の脱出孔

写真２　産卵痕

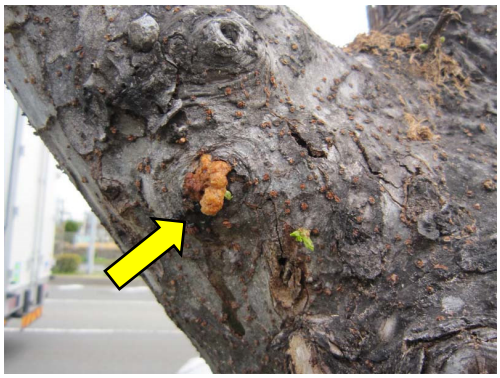


写真３　フラス（1）

写真４　フラス（2）

防除方法

〇伐倒駆除

・成虫が羽化・脱出する前の４月中に完了させる

・伐採した木はチップ化、焼却処分する

〇薬剤防除（樹木類、カミキリムシ類に登録のある農薬：2021 年 12 月 28 日現在）

農薬の使用に当たっては、必ず登録内容を確認してください。

※農薬登録情報提供システム　https://pesticide.maff.go.jp/

【成虫】

・フェニトロチオン（MEP 剤）（スミパイン等）：成虫発生初期又は直前に樹幹散布

【幼虫】

・フェンプロパトリンエアロゾル（ロビンフッド・ベニカカミキリムシエアゾール等）：食入孔にノズルを差し込み噴射

事　務　連　絡
令和４年２月 10 日

各都道府県
森林病害虫等防除事業担当課長 殿

林野庁研究指導課
森林保護対策室室長

ツヤハダゴマダラカミキリの発生状況に関する情報提供及び被害木の確実な処理について

日頃より森林病害虫対策の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和３年９月 13 日付け事務連絡で情報提供させていただきましたツヤハダゴマダラカミキリについては、その後も国内での発生情報が各種報道や昆虫専門誌等で相次いでおり、現時点で全国８県（宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、富山県、愛知県、兵庫県、山口県）21 市町での発見情報を把握しております。（別添１参照）

ツヤハダゴマダラカミキリは、特定外来生物には指定されていませんが、海外では幅広い樹種の樹木に甚大な被害を及ぼしていることから、国際自然保護連合（IUCN）により「世界の侵略的外来種ワースト１００」に選ばれており、我が国でも、今後生息域が拡大することにより、森林のみならず、農地、公園、街路樹、学校等の樹木にも深刻な影響が生じることが懸念されます。（本虫は、根元付近の樹幹ではなく枝先に穿孔することが多いため発見されにくく、枯れ枝の落下による人的被害等も懸念されるところです。）

このため、被害が拡大する前に早期の対策が必要と考えており、当面の対応として、現在確認されている被害木が新たな本虫の発生源となることを防ぐため、別添２の参考資料をご参考に今年の羽化脱出前までに確実に駆除処理を行っていただきたいと考えており、環境省の協力の下、公園、道路、学校等を所管する関係府省に対し、別添３のとおり注意喚起と被害木処理についての協力依頼文書を発出しております。

各都道府県の森林病害虫等防除事業担当部局におかれましては、森林内外における被害の発生状況や伐倒駆除等被害木処理が実施可能な事業者などについて関係部局と情報共有を図りつつ、森林内はもとより、森林以外で発生が確認された場合も含め、被害木の所有者・管理者、市町村等に対し適切に御対応いただくよう関係部局と連携して指導いただくなど、本虫が羽化脱出する前（４月末頃まで）に確実に駆除処理が行われるようお願いします。

また、今後、本虫の新たな発見情報を得た場合や、駆除等を行った場合には、発見場所や被害樹種、捕獲頭数、駆除方法などを林野庁まで情報提供いただきますようお願いします。

林野庁 森林整備部 研究指導課
森林保護対策室 保護指導班
担当：笠井、劒持
TEL：03-3502-1063
FAX：03-3502-2104
E-mail：shuichi_kasai470@maff.go.jp
naoki_kemmochi220@maff.go.jp

ツヤハダゴマダラカミキリの発生情報（令和２年以降）

令和4年1月26日現在

都道府県	市町村	発生場所	寄主植物	本数	生体捕獲等
宮城県	仙台市	街路樹、公園 大学構内	カツラ、トチノキ、ソメイヨシノ、 マメヤナギ	50本以上	目撃、写真
	名取市	街路樹	トチノキ、カツラ	100本以上	目撃
福島県	福島市	街路樹、公園 大学構内、個人宅、 森林、果樹園	トチノキ、カツラ、 オオモクゲンジ？、リンゴ？	不明	捕獲あり、 脱出孔確認
	国見町	役場敷地内	カツラ	28本	不明
	桑折町	個人宅	不明	不明	不明
	白河市	街路樹、公園	トチノキ、カツラ	十数本	不明
	須賀川市	公園	トチノキ（疑い）	不明	不明
	二本松市	個人宅	不明	不明	写真
	伊達市	個人宅、薬樹園、 樹木園	トチノキ、カツラ、エンジュ、 カエデ	トチノキ1本 カツラ4本 エンジュ1本 カエデ不明	目撃、写真、 捕獲、死骸捕獲
茨城県	つくば市	街路樹	カツラ	不明	捕獲
埼玉県	白岡市	街路樹、公園	トチノキ	多数	捕獲
	松伏町	県営公園	不明	44本	目撃
	飯能市	不明（口頭報告で追跡不可）		不明	目撃
富山県	富山市	街路樹、植物園、 公園	トチノキ、アキニレ ※10年前の標本から本虫確認	6本以上	捕獲（15頭以上）
愛知県	名古屋市	公園	アキニレ	不明	不明
	岡崎市	公園、神社	アズキナシ、アキニレ	各1本	写真
	豊田市	街路樹、公園	アキニレ	数本	目撃
	みよし市	街路樹	アキニレ	20本	捕獲（150頭以上）
兵庫県	神戸市	六甲アイランド周辺	アキニレ、プラタナス、 トチノキ	ｱｷﾆﾚ189本 ﾌﾟﾗﾀﾅｽ4本 ﾄﾁﾉｷ6本	捕獲（20頭以上）
山口県	防府市	河川敷	不明（生体のみ確認）	不明	捕獲（1頭）
	岩国市	公園、神社、河川敷、 駐車場、小学校	ヤナギ属、シダレヤナギ、 ポプラ	十数本	捕獲（200頭以上）

参考資料

別添２

ツヤハダゴマダラカミキリ
Anoplophora glabripennis

分布
中国、韓国、北朝鮮原産で、
アメリカ合衆国、フィンランド、
フランス、イタリア等に侵入している。

雄成虫　　雌成虫
図1　本種成虫

寄主植物　（別紙１の①参照）

形態
（成虫）体長　雄　20～29mm
　　雌　22～35mm
体色は全体に光沢のある黒色で鞘翅に約20個の白斑～黄斑を有する。
触角は12節、3～12節には明瞭な白色の帯があり、雄では体長の2.5倍、雌では1.3倍と長い（図１）。
※在来種のゴマダラカミキリとの識別は別紙１の②参照

生態
・　成虫は5月下旬～10月に出現。雌は寄主植物にすり鉢状のかみ傷をつけ、その窪みに 一個ずつ産卵する。かみ傷は一般的に直径 5cm 以上の幹や枝に見られる。
・　卵は2～3週間で孵化し、幼虫は、孵化後しばらく黒褐色の細かい糸クズ状の糞を産卵痕から排出し、2～3齢まで樹皮下を食害した後材内に潜入する。この頃から排出される糞は白く粗い木屑状に変わる。幼虫は最大で50mm以上となり、5令を経て材内で蛹化し、2～3週間後10～15mmの孔を開け脱出する。
・　1年に1世代で、卵、幼虫、蛹態で越冬する。
・　雌は複数の雄と交尾し、一生産卵を続ける（１雌あたり産卵数は約45～62個）。
・　雄の寿命は3～50日。雌は14～66日。
・　飛翔能力は、1回の飛翔は30～255mと短いが、中国では1シーズンに雄成虫が1029m、成熟雌成虫が1442m移動したという報告もある。

海外での被害情報
・　ニューヨーク州、マサチューセッツ州、ニュージャージー州、イリノイ州、オハイオ州、サウスカロライナ州、オンタリオ（カナダ）及びヨーロッパの一部で大発生し、公園や街路樹のポプラを枯死させ、年間数百万ドルの大被害を与えている。
・　中国では全土のポプラ植林面積670万haのうち270万ha（40%）が被害を受けた。

防除方法
伐倒駆除又は、樹木類・カミキリムシ類に登録のある農薬による薬剤処理。
（別紙２参照）

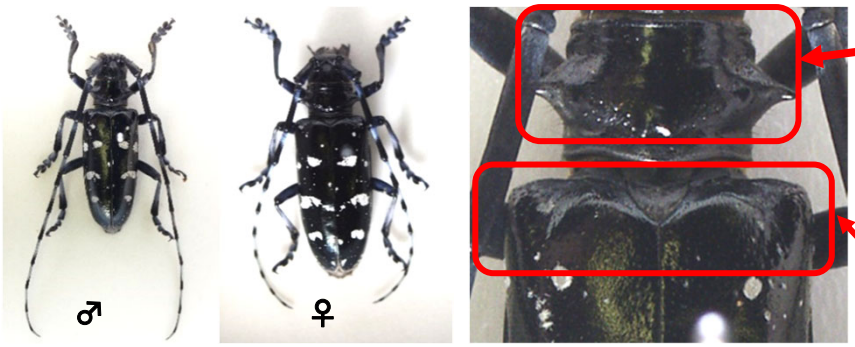
寄主植物と在来種との識別

① 寄主植物

アオイ科：ムクゲ（Hibiscus syriacus）
カエデ科：カエデ属（Acer）、A. ginnala、トネリコバノカエデ（A. negundo）、A. nigrum、
イロハモミジ（A.palmatum）、ヨーロッパカエデ（A. platanoides）、
セイヨウカジカエデ（A. pseudoplatanus）、ベニカエデ（A. rubrum）、
ギンヨウカエデ（A. saccharinum）、サトウカエデ（A. saccharum）、A. tegmentosum、
A.truncatum
カバノキ科：ハンノキ属（Alnus）、カバノキ属 (Betula)、B. populifolia
クワ科：クワ属（Morus)、トウグワ（M. alba）
グミ科：ヤナギバグミ（Elaeagnus angustifolia）
スズカケノキ科：スズカケノキ属（Platanus）、モミジバスズカケノキ（P. ×acerifolia）
センダン科：センダン（Melia azedarach）
トチノキ科：Aesculus glabra、セイヨウトチノキ（A. hippocastanum）
ニレ科：ニレ属（Ulmus）、アキニレ（U. parvifolia）、ノニレ（U. pumila）
バラ科：リンゴ属（ Malus ）、M. sylvestris、サクラ属（Prunus ）、ナシ属（Pyrus ）、
バラ属（Rosa)、Sorbus americana、ヨーロッパナナカマド（S. aucuparia）
マメ科：ネムノキ（Albizia julibrissin）、ハリエンジュ（Robinia pseudoacacia）、
クララ属（Sophora)
モクセイ科：トネリコ属(Fraxinus)、セイヨウトネリコ（F. excelsior）、
ビロウドトネリコ（F. pennsylvanica）
モクレン科：ユリノキ（Liriodendron tulipifera)
ヤナギ科：ハコヤナギ属（Populus)、ウラジロハコヤナギ（P. alba）、P. canadensis、
P. dakuanensis、ナミキドロ(P. deltoids)、クロポプラ（P. nigra）、ヤナギ属（Salix)、
シダレヤナギ（S. babylonica）、ウンリュウヤナギ（S. matsudana）
カツラ科：カツラ属（Cercidiphyllum）

② ゴマダラカミキリとの識別

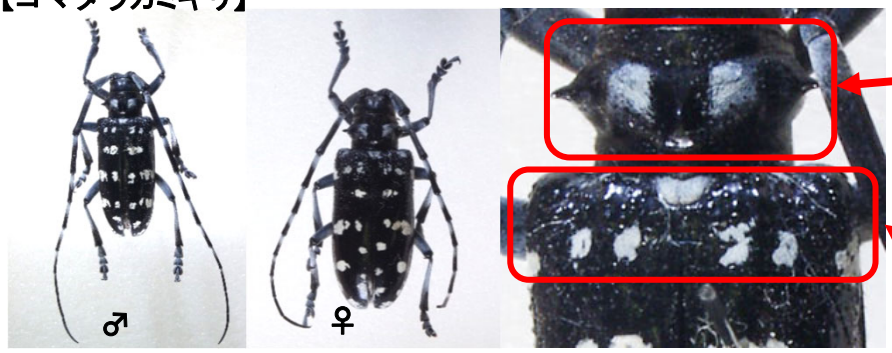
【ツヤハダゴマダラカミキリ】



『前胸背』
・ 白紋を持たない

『上翅基部』
・ 顆粒状突起を持たない
・ 白紋を持たない
・ 小楯板は白色軟毛に覆われない

【ゴマダラカミキリ】



『前胸背』
・ 中央に2つの白紋を持つ

『上翅基部』
・ 顆粒状突起を持つ
・ 白紋を持つ
・ 小楯板は白色軟毛に覆われる

別紙２

ツヤハダゴマダラカミキリの発生調査と防除方法

発生調査方法

〇発生木の調査（時期：周年）

・対象樹：ニレ属（アキニレ、ハルニレ）、カツラ、トチノキ属、ヤナギ類（海外ではポプラやカエデ類への被害が報告）

・木幹を観察し、成虫の脱出孔（写真１：直径 10～15㎜）又は産卵痕（写真２：直径 10～20㎜）、幼虫が排出するフラス（写真 3～4：幼虫が食べた木くずと糞が混ざったもの）の有無を確認（ゴマダラカミキリ等、在来のカミキリムシの可能性があることから生体を確認することが望ましい）

〇成虫の調査（時期：5～10 月ごろ）

・被害発生木を中心に目視で観察

写真１　成虫の脱出孔

写真２　産卵痕

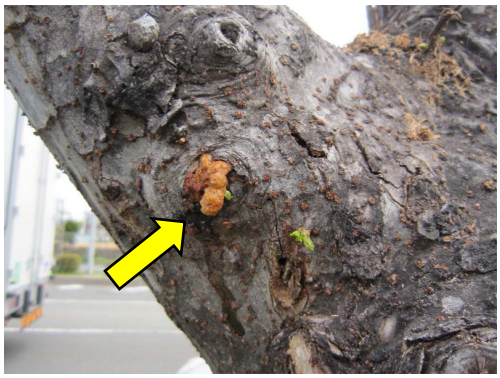


写真３　フラス（1）

写真４　フラス（2）

防除方法

〇伐倒駆除

・成虫が羽化・脱出する前の４月中に完了させる

・伐採した木はチップ化、焼却処分する

〇薬剤防除（樹木類、カミキリムシ類に登録のある農薬：2021 年 12 月 28 日現在）

農薬の使用に当たっては、必ず登録内容を確認してください。

※農薬登録情報提供システム　https://pesticide.maff.go.jp/

【成虫】

・フェニトロチオン（MEP 剤）（スミパイン等）：成虫発生初期又は直前に樹幹散布

【幼虫】

・フェンプロパトリンエアロゾル（ロビンフッド・ベニカカミキリムシエアゾール等）：食入孔にノズルを差し込み噴射

別添３

事　務　連　絡
令和４年２月９日

文部科学省大臣官房　政策課
文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課
文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課　御中
文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課
文部科学省高等教育局高等教育企画課
文化庁政策課

環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室長

ツヤハダゴマダラカミキリの発生状況に関する情報提供について（周知）

平素より外来生物対策に御協力を頂き御礼申し上げます。

さて、昨年５月に開催された「令和３年度クビアカツヤカミキリに関する関係省庁連絡会議」において、農林水産省よりツヤハダゴマダラカミキリに関する情報提供があり、令和２年６月に兵庫県で発生が確認されたとのことでした。その後、国内での発見が相次いで報告され、現在、全国８県（宮城県、福島市、茨城県、埼玉県、富山県、愛知県、兵庫県、山口県）で確認されています。

本種は、特定外来生物には指定されておりませんが、海外では幅広い樹脂の樹木に甚大な被害を及ぼしており、日本においても森林の他、農地や公園、街路樹等の樹木への影響が懸念されています。

今般、令和４年２月８日付けで林野庁研究指導課森林保護対策室室長より、別添のとおり関係省庁に対して、本種に関する情報提供、都道府県等への注意喚起及び被害木処理への協力依頼があったことから、周知させていただきます。

－担当－
環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室　関
tel：03-5521-8344（直通）
fax：03-3581-7090

事　務　連　絡
令和４年２月９日

農林水産省消費・安全局植物防疫課長　殿

環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室長

ツヤハダゴマダラカミキリの発生状況に関する情報提供について（周知）

平素より外来生物対策に御協力を頂き御礼申し上げます。

さて、昨年５月に開催された「令和３年度クビアカツヤカミキリに関する関係省庁連絡会議」において、農林水産省よりツヤハダゴマダラカミキリに関する情報提供があり、令和２年６月に兵庫県で発生が確認されたとのことでした。その後、国内での発見が相次いで報告され、現在、全国８県（宮城県、福島市、茨城県、埼玉県、富山県、愛知県、兵庫県、山口県）で確認されています。

本種は、特定外来生物には指定されておりませんが、海外では幅広い樹脂の樹木に甚大な被害を及ぼしており、日本においても森林の他、農地や公園、街路樹等の樹木への影響が懸念されています。

今般、令和４年２月８日付けで林野庁研究指導課森林保護対策室室長より、別添のとおり関係省庁に対して、本種に関する情報提供、都道府県等への注意喚起及び被害木処理への協力依頼があったことから、周知させていただきます。

－担当－
環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室　関
tel：03-5521-8344（直通）
fax：03-3581-7090

事　務　連　絡
令和４年２月９日

国土交通省総合政策局環境政策課長　殿

環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室長

ツヤハダゴマダラカミキリの発生状況に関する情報提供について（周知）

平素より外来生物対策に御協力を頂き御礼申し上げます。

さて、昨年５月に開催された「令和３年度クビアカツヤカミキリに関する関係省庁連絡会議」において、農林水産省よりツヤハダゴマダラカミキリに関する情報提供があり、令和２年６月に兵庫県で発生が確認されたとのことでした。その後、国内での発見が相次いで報告され、現在、全国８県（宮城県、福島市、茨城県、埼玉県、富山県、愛知県、兵庫県、山口県）で確認されています。

本種は、特定外来生物には指定されておりませんが、海外では幅広い樹脂の樹木に甚大な被害を及ぼしており、日本においても森林の他、農地や公園、街路樹等の樹木への影響が懸念されています。

今般、令和４年２月８日付けで林野庁研究指導課森林保護対策室室長より、別添のとおり関係省庁に対して、本種に関する情報提供、都道府県等への注意喚起及び被害木処理への協力依頼があったことから、周知させていただきます。

－担当－
環境省自然環境局野生生物課
外来生物対策室　関
tel：03-5521-8344（直通）
fax：03-3581-7090

事　務　連　絡
令和４年２月８日

環境省 自然環境局 野生生物課
外来生物対策室長 殿

林野庁研究指導課
森林保護対策室室長

ツヤハダゴマダラカミキリの発生状況に関する情報提供について

日頃より森林病害虫対策の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ツヤハダゴマダラカミキリは、中国・朝鮮半島原産の外来種ですが、令和３年５月11日に開催された「令和３年度クビアカツヤカミキリに関する関係省庁連絡会議」において農林水産省消費・安全局植物防疫課より、令和２年６月に兵庫県で発生が確認された旨情報提供があったところです。

その後も、本虫の国内での発生情報が各種報道や昆虫専門誌等で相次いだことから、林野庁が各都道府県の森林病害虫等防除事業担当部局等に照会したところ、現時点で全国８県（宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、富山県、愛知県、兵庫県、山口県）での発見情報を把握したところです。（別添１参照）

ツヤハダゴマダラカミキリは、特定外来生物には指定されていませんが、海外では幅広い樹種の樹木に甚大な被害を及ぼすことから、国際自然保護連合により「世界の侵略的外来種ワースト１００」に選ばれており、我が国でも、今後生息域の拡大により、森林のほか、農地、公園、街路樹、学校等の樹木に深刻な影響が生じることが懸念されます。（本虫は、根元付近の樹幹ではなく枝先に穿孔することが多いため発見されにくく、枯れ枝の落下による人的被害等も懸念されるところです。）

このため、被害が拡大する前に早期の対策が必要と考えており、当面の対応として、現在確認されている被害木が新たな本虫の発生源となることを防ぐため、別添２の参考資料をご参考に今年の羽化脱出前（４月末頃まで）に確実に駆除処理を行っていただきたいと考えております。

被害木の駆除処理に当たりましては、被害木の所有者や施設管理者とそれを所管する市町村の担当部局が駆除処理について知識・技術を有する関係部局と協力するなど、地域の実情に応じ連携して適切に御対応いただく必要があると考えております。

また、本虫未確認の土地や直轄施設等においても、関連部局や地方自治体等と連携して本虫発見時の連絡体制や防除体制を整備するとともに、都道府県の関係部局等に対しての注意喚起等の依頼にご協力いただきたいと考えております。

更に、本虫を新たに発見、駆除等を行った場合には、発見場所や被害樹種、駆除方法などについて、最寄りの地方公共団体の森林病害虫等防除事業担当部局等を通じた情報提供にご協力いただきたいと考えます。

つきましては、関係省庁あて本虫に関する注意喚起と、被害木処理への協力をお伝えいただくようお願いいたします。

なお、林野庁から各都道府県の森林病害虫等防除事業担当部局に対し、本虫に関する情報提供と、森林以外で発生が確認された場合でも、関係部局が地域の実情に応じ連携して対応いただくよう依頼しておりますので申し添えます。

林野庁 森林整備部 研究指導課
森林保護対策室 保護指導班
担当：笠井、劒持
TEL：03-3502-1063
FAX：03-3502-2104
E-mail：shuichi_kasai470@maff.go.jp
naoki_kemmochi220@maff.go.jp